



ぺんぎんぐみだより

1月



2020年1月6日 保土ヶ谷保育園

最近の子どもたちの様子

建て替えの工事で日々変わる保育園の風景を子どもたちは楽しみながら、「今日はどこに散歩行くの?」「行ったことない所にしようよ!」と毎日元気いっぱい過ごしています。外遊び用の上着のチャックを自分でやるのは難しいからと友だち同士で締め合ったり、「帽子忘れてるよー!」と友だちのカラー帽子を持って届けてあげたりと段々と保育者の手伝いも少なくなっていくのが嬉しい反面寂しくもあります。出かけるときの準備に限らず、給食や午睡前の着替えなど、見守っているだけで子どもたちが自分でやれることが日々増えているのを改めて感じています。衣服を畳むのも少し前までは手伝っていたのに今はほとんど自分でカバンにしまっています。おやつ後に保育者が部屋の掃除しているのを見て「お手伝いしてみたい!」という子たちが増えてきたので雑巾がけを一緒にやるようになりました。「床が濡れてない所を探してみてね」と教えると部屋だけでは足りず「廊下もやってくる!」と廊下も雑巾をかけてくれる日もあります。子どもたちは「お手伝い」と言ってくるものの、「先生たちと同じことをしてみたい」という気持ちの方が強そうです。同じように雑巾がけをして水ですすいでカゴにしまうまでの流れを一緒にやると嬉しそうにいつもの遊びに戻っていきます。ぺんぎん組の子どもたちが今何をしてみたいのかを日々じっくりと見守りながら過ごしていこうと思っています。

ぺんぎん組担任

こんな音でるよ!

保育室でリズム遊びをしていた際、保育者が「部屋のもので音出るものないかなー」と呟いた所、「じゃあ探してみようよ!」と部屋の中から楽器探索が始まりました。ブロックの粒をスプーンでこすったり、大きさの違う箱を裏返して順番に叩いたり、入れ物に細かい玩具を入れてゆすったり…。全部子どもたちが自分で探してきてくれた室内の楽器たち。みんなで机に並べてみると色々な音色が出ることに気付いた子どもたちが「順番に鳴らしてみようよ」と順番に音を出したり合わせてみたりと「楽器遊び」というより「自分が探した音遊び」になり盛り上がりました。自分たちで音が出るものを作ってみたり保育者が様々な楽器を持ってきたりして、「音を出すって楽しいね、やってみたいね」という興味をもつきっかけを作っていけたらなと思います。



今月の活動

- ・正月遊びなどを通して伝統ある遊びに親しんだり新しい遊びに触れる。
- ・生活のリズムを整えて、元気に過ごす
- ・身体を動かしたり、みんなで表現をしたりする楽しさを味わう



お願い

- ・ヘアゴムは飾りのないものを使用していただき、お迎え時にお持ち帰りください。
- ・朝・夕は特に冷え込むようになりました。着替えは長袖のものやトレーナー等厚手の物のご用意をお願いします。

スモックと絵の具

保護者会から子どもたちにスモックを購入していただき、子どもたちが絵の具を使う時は着用しています。クリスマスツリー制作の際は全員で夜空を塗る作業に挑戦。ダイナミックに筆を動かす子、塗り残しが無いように少しずつ塗る子、線ではなくポンポンと叩くようにして塗っていく子…とやり方はそれぞれでも顔は真剣そのもの。絵の具を使った絵画も興味津々で楽しんでいます。子どもたちは塗るのも楽しそうでしたが筆をバケツに入れると色水ができることのほうが盛り上がりていましたが…(笑色が混ざると違う色になる事、クレヨンと違う筆の使い心地や塗った感触、子どもたちは絵を描く以外の部分も楽しみながら描いています。スモックを使った日は持ち帰って洗濯して頂き、水色の個人カゴに入れてもらえると助かります。

